

ながわだより

第33号

発行日 2023年
12月25日

発行所 中川区自治会



ご挨拶 2024年元旦

中川区自治会長 長崎 義信

明けましておめでとうございます。
昨年は、新型コロナウイルス、夏場の異常気象、ウクライナやイスラエルの悲惨な紛争、円安による物価高騰等暗いニュースが多い1年でした。そのなかで、中川区自治会は、5つの重点目標を掲げて自治会活動を進めましたので、その振り返りを少ししたいと思います。

①自治会行事の充実

8月の夏祭り、10月のレクアートの実施

②区民のみなさんの交流、親睦を深める活動

第一日曜日の本の交換会(包丁研ぎ、喫茶サロンも含む)の実施

③健康促進事業の推進

ヘルスステーション、福祉会、シニア会共催の春・秋のウォーキング大会、健康教室、春のグランドゴルフ大会の実施

④ホームページの充実

お知らせ、閲覧板のスピーディな情報発信ができました。

⑤キレイな街づくり

春・秋の美化運動、年3回の自治会共催の松林清掃の実施

本の交換会1年の感想

分館主事 西 義昭

読み終えた本を次の人へバトンタッチし、この事を通じて区民のみなさんの交流が少しでも盛んになればとの趣旨で、交換会を開始して10月で1年が経過しました。たくさんの本を持ち寄っていたら、現在500冊以上の本が寄せられています。持ち込みをしていただいたみなさんに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

本のジャンル別で一番多いのは、絵本、童話、児童図書等で、子供が大きくなり、これらの本を卒業した方々からの厚意の結果だと思っています。

最近持ち込んでいただいた絵本の中に、動物の顔が飛び出てくる絵本があり、本もテレビもない子供時代だった爺さんは、本もこれだけ進んだのかとビックリです。

児童用の本は、一時期を過ぎると読み返す事はないので必要がなくなると思います。また買うと一般の本に比べかなり高価ですので、現在子育て中の親御さんは大いに利用されたらと思います。次に多いのはマンガ、他には小説、エッセイ、食と健康、趣味・娯楽、実用書、花および美術の写真集、日本・世界地図等があります。

現在はスマホが進んで、新聞や本等の紙の活字を読まなくなり、あちこちの町の本屋さんが消えていく時世で、公民館での本の交換会は時代遅れかもしれませんが、なかには本の好きな方も

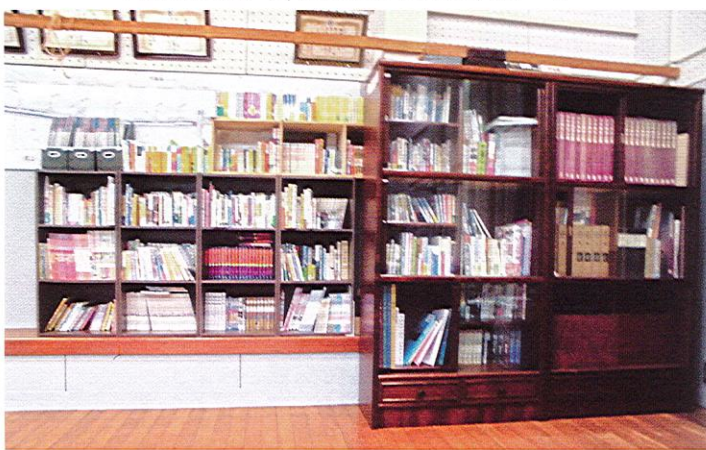
おられると思いますので、一度ぶらりと来館され、気に入った本があればお持ち帰りください。持ち込み自由、持ち帰り自由です。

これと並行して、喫茶サロン、包丁研ぎも実施中です。喫茶サロンのメニューは、なるべく季節に沿ったものをと毎月品替えをしておりますので、これもお楽しみに！

包丁研ぎはプロ級の腕前の方が数名おられます。一度お試しあれ。あいにく、これらの方がおられなくて私が研いだ場合は、持ち込み前よりも切れなくなるかもしれません。その折は悪しからず。

いずれにしましても、区民のみなさんが公民館に足を運んでいただき、交流が盛んになる事を願っています。

中川公民館、貸し出し自由の図書コーナー



2023年度はコロナ規制が解除されすべての行事が復活しました



5月12日のウォーキング大会
5月にはコロナは2類から5類へ変更されました



5月14日の区民総出の清掃活動、きれいになりました



6月3日のグランドゴルフ大会



6月4日の子供陶芸教室の風景



6月17日健康教室の風景



6月17日スカットボールでの一コマ



松原清掃ボランティアは毎月第3日曜日です
ご参加お待ちしております



組長会議は毎月12日の夜 公民館のホールで開催されます
隣組のお世話や行事の運営など、初めての組長さんは慣れるまで大変です
みなさんのご協力をお願いします

今年開催できた行事から思うこと

行事部長 片山 晴史

コロナが落ち着いた今年は主要イベントの復活を試みました。

6月には恒例の隣組対抗のグラウンドゴルフを開催しましたが、準備段階で右足首を骨折してしまい、晴天の中、無事終了したとの報告を病室で聞く羽目になったのは無念でした。

この日優勝、準優勝チームの東ヶ丘2組Aと西浜1組両チームを秋の区対抗試合へ派遣しましたが、上位進出は残念ながらなりませんでした。

8月には令和初の夏祭りを開催することができませんでした。経験値がない中で計画立案には不安しかありませんでしたが、多くの参加者で盛り上げることができました。特に飲食販売はプロにお願いすることにし、チケット制にして現金のやり取りを極力抑えたことも、成功要因と思っています。

子供みこしには多くの子供たちの参加がありました。盆踊りへの一般参加も多く、練習会を開催した甲斐がありました。ただ予定時間を長めに取り過ぎていたせいで、想定した時間進行より、約1時間早く閉会を告げる結果となりました。特にお店の売上減を心配しましたが、問題はありませんでした。参加者からも早すぎたとの声は聞かれず、安心しました。次回の検討事項にしたいと思います。

9月には敬老祝賀会を開催しました。予想はしていましたが、高齢化が進み、祝賀会にご参加いただける方が増え、これまでのテーブル席での式典の開催を断念し、椅子席としました。

それに伴い会場での昼食は困難となり、お弁当とお茶をお持ち帰りいただくスタイルとなりました。それでも子供達の合唱、バンド演奏、フラダンス、福引など、楽しい時間を過ごしていただけたと思っています。

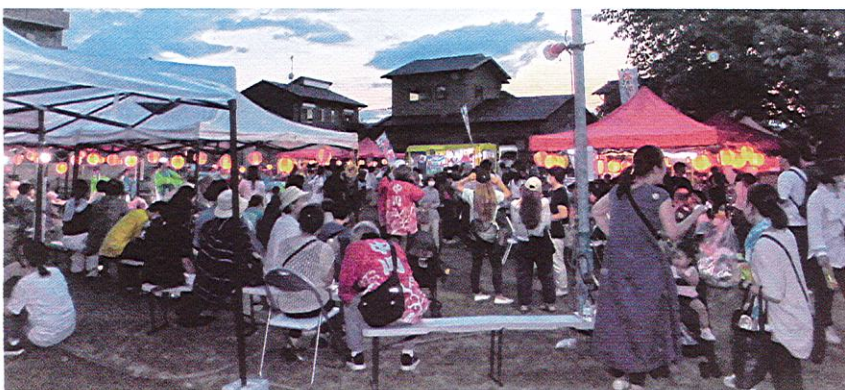
10月にはレクアートを実施しました。会場の都合で計画より1週間遅れでの開催となりました。レクリエーションは西小学校体育館で、「輪投げ」や「なわとび」や「大綱引き」のほか「フラ」や「よさこい」の演技を楽しんでいただきました。

反省点としては、ブロック対抗にたかつた大綱引きが、参加者不足で参加者全員からその場で2チームを編成して1試合しかできなかったこと、なわとびが10人跳びは無理で、3人跳びに変更したことで、スリッパ飛ばしが高齢者には危険であると判断されたことなどです。

アートの方は公民館での展示に加え、コーヒー&ケーキ接待で、生け花や陶芸をはじめ多くの作品を大勢の方に見ていただくことができました。

この後は、新年交流会が控えています。多くの区民の方々に楽しんでいただけるよう計画中です。

最後に今回紹介したイベントの成功は組長、体育委員のみなさんの大きなご協力によるものと深く感謝しています。ありがとうございました。





新型コロナ禍と

自治会活動を振り返って

米谷 英資

やっと普通の日常に戻ったかのような新型コロナ禍。まだ完全終息とは言えないものの一段落し、かなり安心感を持てるようになったことは幸いだと思っています。

振り返ると、2020年（令和2年）の年明けから感染が始まり、4月には感染拡大に対応して国の「緊急事態宣言」が発せられました。まん延は止まらずパンデミックに至ったことは今考えても衝撃的で恐怖を覚えるほどでした。その後解除・宣言が繰り返されながら3年以上の長い苦しい期間が経過しました。

この3年余の間に世界では累計6億7千万人が感染、死者688万人となり、日本では感染者3千3百万人（世界6番目の多さ、日本人の37人に1人）、死者7万3千人と多くの人命が失われたことに心が痛みます。

古賀市では2020年3月には小中学校の臨時休校が実施され、公共施設の閉鎖や市主催の行事・イベントの中止・延期が通達されました。その後も感染のまん延に伴い長い間の厳しい感染対策を余儀なくされ、生活の面でも仕事の面でも苦しい期間だったと思います。

中川区としては、まず公民館の使用中止・制限や感染防止対策の徹底に取り組み、自治会の各種行事や一部会合等の中止を決めました。そして市のコロナ対策方針に沿って、様子を見ながら制限の緩和や屋外行事の再開を進めましたが、中川区からクラスター（集団感染）が発生しないか、内心ヒヤヒヤだったのが正直なところで、区民のみなさんのご協力もあって何事もなくほっとしました。

感染拡大初期の2020年5月には「新型コロナ

禍の中での中川区民の声」を募集し多くの方々の投稿をいただきました。名言、迷言？ありで、公民館に掲示して、それらの言葉から元気をもらうことができました。ただコロナ対策中は自治会の主要行事である夏祭り、レクアート、敬老祝賀会や育成会行事等を全て中止にせざるを得なかったことは寂しい限りでした。

幸い2023年は、制限が大きく緩和されてすべての自治会行事が再開され、失われた3年を取り戻すように華麗に蘇りました。新しく始めた「本の交換会、喫茶サロン」も好評で、今後の発展が楽しみです。

これからは前を向いて、区民のみなさんの参加のもと自治会活動をさらに進化させていくとともに、自治会活動・行事・区民のつどい等がみなさんの生活の楽しみや生きがいの一助となることを心から願っています。



編集後記

10月28、29日のレクアートが終わって今年度の主要行事はほぼ終了しました。

コロナ禍の長いブランクで行事運営のノウハウは失われ手探りの状態が続きました。

それだけに役員全員が緊張感をもって真剣に取り組んでまいりました。

また全員で協力し合う中で連帯感も生まれ、新たなノウハウも蓄積されました。

大事なことはこれが継続されていくことだと思います。

1月8日には中川区の新年交流会が行われます。日頃公民館に縁遠い方々も是非誘い合わせでご来館ください。